



準備のための ガイド

2021年3月28日（日）は、「子どもと青少年のための世界祈祷日」です。今年のテーマは「見ること、聞くこと」です。15世紀、イギリスには「子どもたちはよく見てあげるべきであって、聞いてあげるべきではない」ということわざがありました。しかし私たちは、見るだけでなく、子どもと青少年の声を聞くことも、とても重要であると考えています。神の国を築き上げるために、神様がその素晴らしい御業と若い人々を通して働きかけてくださり、語ってくださっているからです。下記に「子どもと青少年のための世界祈祷日」で使える活動のプログラムを紹介します。あなたの小隊が前進するためにも、何回かの日曜日にわたって用いることをお勧めします。この取り組みをする中で、ぜひ青年たちとそのリーダーの声が聞かれるように一緒に活動してください。「準備のためのアンケート」は、子どもと青少年の考えや提案を集めるためのアンケートになっています。それも併せて使ってみてください。

祈り

「子どもと青少年のための世界祈祷日」の集会の要素として、祈る時間をもつことが大切です。いろいろな祈りの方法を紹介します。

- 子どもと青少年の周りを大人で囲んで、彼らのために祈る。
- 集会が始まる前に青年たちと話す時間を持ち、彼らのニーズと心配事を聞く。また、若い人々が彼らを取り巻く社会で直面している問題を、これらのことを集会で提示して、みんなで祈る時間をもつ。会衆をスモールグループに分け、祈る時間をもつ。
- 子どもと青少年に影響を与えている問題を紙に書いてもらい、それらのことについて祈る。
- もしあなたの小隊に子どもや青少年がいなければ、あなたの地域、国、そして世界の子どもたちのために祈る時間をもつ。それぞれの地域、

近所で子どもたちが直面している問題点を事前に情報収集してください。

証言

- 集会の間に何人かの若い人に、神様が彼らの人生でしてくださったこと、働きかけてくださっていることを分かち合ってもらおう。オンラインまたは事前録画でもできる。

音楽

- 集会で賛美する曲を、若い人に選んでもらう。青年に賛美を導いてもらうこともよい。
- 子どもたちが簡単な楽器で楽しめる、ハイテンポな音楽を用意する。（ドラム、マラカス、タンバリンなど）

芸術的表現

- ポエムや、ダンス、ドラマ、賛美などを若い人のパフォーマンスの時をもつ。自分たちの声が聞かれ、価値のあるものだを知る、ということが、彼らにとってどんな意味をもつのかを表現してもらおう。

メッセージ

- 聖書箇所、テーマ、質問が含まれている教材を用いて、会衆に身近に関連するメッセージを準備する。
- 若い人でメッセージを進んでできる人がいればその人を用いる。もし必要であれば、一緒にメッセージを準備する。支え、励ますことは大切。
- メッセージの中で、大人たちに、彼らがどのようにして小隊や人生の中で、子どもたちの声を聞く機会をつくることができるのかを、考えてもらう時間を作る。



概要

未就学児用

「子どもと青少年のための世界祈禱日」までの1、2週間、これを用いてください。国によって年齢は異なりますが未就学児が対象です。必要に応じて内容を変更してください。

小学生・中学生用

「子どもと青少年のための世界祈禱日」までの1、2週間、これを用いてください。就学している子どもを対象としています。日曜学校や、キッズプログラムで使えるようにしていますが、状況に応じて変更してください。

青少年用

「子どもと青少年のための世界祈禱日」までの1、2週間、これを用いてください。高校生が対象です。理想的には、スモールグループや、バイブルスタディ、ディスカッションで進められるようにしていますが、状況に応じて変更しても構いません。

準備のためのガイド

小隊士官が、「子どもと青少年のための世界祈禱日」の礼拝を計画するためのものです。祈りを集会に取り入れるための方法や、子どもと青少年が集会に関われるようにする提案が含まれています。

準備のためのアンケート

「子どもと青少年のための世界祈禱日」の礼拝プログラムを作る際に、役立つ質問や提案などが含まれています。



準備のための アンケート

集会の中で私たちに歌ってほしい賛美の曲はなんですか？

集会のプログラムに入れたらよいと思うゲームや活動はありますか？

子どもと青少年に関係することで、集会の中で共に祈るべきことはありますか？

集会の中で、あなたが持っている賜物や才能を発揮できることはありますか？

集会の中で含んだほうがよいと思うことはありますか？



子どもと青少年のための
世界祈禱日2021



未就学児用

目的

子どもたちがキリストの体の一部であることを認識し、神様を通して経験したことを共有するように励まします。

テーマ

見たこと、聞いたこと

私たちは、子どもたちは、リーダー、弟子、意思決定者であるということを信じます。子どもたちは、今、小隊や世界に必要なスキルや、得意分野を持っているということを信じます。子どもたちが毎日神様の声を聞き、神様によって用いられていることを信じます。私たちは、子どもたちはキリストの体の完全で活発なメンバーであり、他のどの部分よりも重要であるということを信じます。

聖書

この教材は、たとえ年齢が若くても神様に選ばれたものであるということを理解できるような、お話や活動を含んでいます。しかし、すべての未就学児が同じであるとは限らないため、この教材はとても柔軟につくられています。この中から、あなたの小隊や子どもたちの年齢や理解度に応じて、あなたが良いと思うものを選んでください。

聖書箇所

コリントの信徒への手紙一12:18-27

お話

子どもたちの興味を引きつけるために、視覚教材を使ってみてください。

神様が人間を創造されたとき、私たちの体を沢山の違う部分をもつように造ってくださいました。神様は一つ一つの部分にたくさんの思いを込めました。神様は私たちがしっかりと立てるように、骨を与えてくださいました。私たちが動き回れるように、筋肉を与えてくださいました。見えるように目を与えてくださり、匂いが分かるように鼻を、味が分かるように舌を、音が聞こえるように耳を与えてくださいました。私たちに見えない部分さえも、神様によって特別に造られているのです。神様は私たちを創造され、全員が一人一人異なるように、特別に造ってくださいました。私たちの体がいろいろな部分で作られているように、小隊も異なった人々でできています。小隊の中には、大人、子どもや青年、またお年寄り、赤ちゃんまでいます。そして私たち全員が神様にとって特別な存在なのです。

活動

祈りのポスター

工作の道具やクレヨンを使って、神様にお祈りしている内容を絵で表現してもらおう。

「あ・い・う」の祈り

グループに分かれて、感謝していることを一つずつ、それぞれのひらがなの文字で始まることばで表す。

彫刻

粘土で、神様が愛している物を作ってもらおう。



見ること 二 聞くこと



子どもと青少年のための
世界祈祷日2021

小学生・中学生用

目的

子どもたちがキリストの体の一部であることを認識し、神様を通して経験したことを共有するよう励まします。

テーマ

見たこと、聞いたこと

私たちは、子どもたちはリーダー、弟子、意思決定者であるということを信じます。子どもたちは、今、小隊や世界に必要なスキルや、得意分野を持っているということを信じます。子どもたちが毎日神様の声を聞き、神様によって用いられているということを信じます。私たちは、子どもたちはキリストの体の完全で活発的なメンバーであり、他のどの部分よりも重要であるということを信じます。

聖書箇所

コリントの信徒への手紙一 12:18-27

お話

神様が人間を創造された時、私たちの体をたくさん違う部分で造ってくださいました。神様は一つ一つの部分に思いを込めました。神様は私たちがしっかりと立てるように、骨を与えてくださいました。私たちが動き回れるように、筋肉を与えてくださいました。見えるように目を与えてくださり、匂いが分かるように鼻を、味が分かるように舌を、音が聞こえるように耳を与えてくださいました。私たちに見えない部分でさえも、神様によって特別に造られています。体を動かすのに重要な肺や、胃、脳などです。たとえば、体の部分でも隠したほうがいいところもあります。たとえ隠していても、それが重要なことには変わりありません。

神様が人々を創造されたとき、全員が異なるようにつくってくださいました。しかし、私たち一人一人はそれぞれ特別であり重要なのです。私たちの体がいろいろな部分で造られているように、キリストの

体も異なった部分でできています。小隊の中には大人も、子どもや青年、またお年寄り、赤ちゃんまでいます。私たちの中には、小隊や人の前で話したり、歌う賜物を持っている人がいます。また、私たちの中には、周りの人が聖書を理解できるように手伝えることができる人もいます。ほかの人への思いやりをもっている人、誰も見ていなくても親切にする人がいます。私たちは一人一人、何歳であろうと、才能が何であろうと、教会にはそれぞれ特別な居場所があるのです。私たち一人一人がキリストの体なのです。

質問

次の質問は、神について子どもたちが分析的に、また創造力豊かに考えられるように考えられています。子どもたちの回答に対して議論する必要はありません。ただ、答えるための時間をあげましょう。

- きょうの話の中でどの部分が一番大切だと思いますか？
- きょうの話の中であなたにあてはまると思うところは、どの部分ですか？
- 神様はあなたにどんな賜物や才能を与えてくださっていると思いますか？
- 神様は現在あなたをどのように用いてくださっていますか？
- 神様はどのようにあなたに語りかけてくださっていますか？

これらの質問に子どもたちが答えた後、祈りの応答の時間をもつことを説明してください。神様と繋がり、お話を聞いてどのように感じたのかを神様に表すために、自由な時間を持ちます。

祈りの応答の時間に入るときに、一緒に祈ってください。子ども同士で祈りたければ、その時間も持ちましょう。



見ること 二 聞くこと



子どもと青少年のための
世界祈禱日2021

青少年用

目的

神様は若い人たちを用いて、神様の目的を成し遂げ、また彼らを通して働き、語りたいと望んでおられるということを示します。

紹介

15世紀、イギリスに「子どもたちはよく見てあげるべきであって、聞いてあげるべきではない」ということわざがありました。子どもたちの考えていることには価値がない、と思われていたのです。しかし、子どもと青少年の声は、小隊の生活と歩みにおいて重要であり、神様は確実に子どもと青少年を通して語り、神の国を築き上げるための驚くべき御業を行っておられます。

活動

次の二つのどれかを実践してみましよう。または独自の活動を考え、声が聞かれることの重要性を示しましょう。

① 身体で表す言語

AとBのグループをつくり、部屋の両端にそれぞれ分かれます。事前に決められたメッセージを与えるか、それぞれのチームでメッセージを1分間で考えて決めます。メッセージの内容は「～をして!」という指示である必要があります。AチームはBチームに言葉を発さずに身振り手振りでメッセージを伝え、Bチームはメッセージを理解したら、その指示のとおり動きます。終わったらAとBを交代して行います。

振り返り:

- メッセージを身振り手振りで表すのはどれくらい難しかったですか?
- 理解するのにどんなことが障害になりましたか?
- 相手を理解するために、より簡単な方法は何かと思いますか?
- この活動で、コミュニケーションについてどんなことを学びましたか?

② チームで叫ぶ

AとBのチームに分かれ、それぞれ1分間でひとつの「短い文章」を作る。AチームとBチームは向かい合って、それぞれのチームが作った「短い文章」を1,2,3のカウントで同時に叫ぶ。叫びながら、相手のチームが何と叫んでいるのかを聞き取り、それぞれが相手チームの「短い文章」が何だったかを当てる。もし、当たらなかった場合には、もう一度、同時に叫び、分かるまで繰り返す。

振り返り:

- 相手チームが言っていたことを聞くのはどれくらい難しかったですか?
- 理解するのにどんなことが障害になりましたか?
- 相手を理解するために、より簡単な方法は何かと思いますか?
- この活動で、コミュニケーションについてどんなことを学びましたか?

ディスカッション

誰か一人に聖書箇所を読んでもらいます。下の質問を使って、ディスカッションをしてください。ディスカッションを円滑に進めるため、自由に独自の質問を加えてください。

まず、神様が目的を達成するために用いられた忠実な青年たちの例を見ていきます。

ダビデ

聖書箇所 サムエル記上17章

- この箇所の中で、何があなたにとって心に留まりましたか?
- サウルが、ダビデがゴリアトと戦ってほしくなかった理由は何ですか? (33節)
- ダビデはどのようにして答えましたか?
- この聖書箇所から、神様の働きについて何を学びましたか?

神様は若い人を通して働くことがおできになります。常に人々の目にふさわしいと思われる人をお選びになるとは限りません。

マリア

聖書箇所 ルカによる福音書 1:26-38

- この箇所の中で、どこがあなたの心に留まりましたか？
- イエス様を身ごもったと知った時のマリアの反応はどのようでしたか？
- もしあなたがマリアの立場だったら、神に対して信頼するのは簡単だったと思いますか？
- マリアをお選びになった神様は、どのようなお方であると言うことができますか？ 神様は小さな力でさえ、素晴らしいことを成し遂げるための影響力として用いてくださいます。

ポラードとライト

1883年3月27日、英国の救世軍人、ポラード大尉とライト中尉がニュージーランド・ポートチャーメーズに着きました。1882年、何名かのニュージーランド人が救世軍創立者であるウィリアム・ブースに、植民地に士官を送るよう頼んだことに応えてやって来たのです。当時は不況の真ただ中で、二人は20歳と19歳でニュージーランドに派遣され、1883年4月1日に最初の野戦を行いました。彼らがダニーデンの禁酒ホールで4回の集会を開くと、すぐに救世軍人が生まれ、ホールが埋まっていきました。ポラードは、クライストチャーチ、オークランド、ウェリントンに酒害者更生ホームを開設し、働きを始めました。1884年の終わりには、30の小隊が開設され、60人の士官が与えられました。

サウル王が、ゴリアトと戦いたいというダビデを、彼の年齢が若いから、経験がないからと言って拒否していたら、イスラエルのストーリーの結末は違うものになっていたことを想像してみてください。もしマリアが神の計画に従わなかったら、イエス・キリストの教会は存在していなかったかもしれません。ウィリアム・ブースがポラードとライトを信頼していなかったら、また、ニュージーランドの人々が二人は若いからといって話を聞くのを拒んでいたら、ニュージーランドの救世軍は生まれていなかったかもしれません。

- 今まで、若いから、才能がないからといって、声を上げられなかったり、責任を与えられなかったりしたことがありますか？ そういう時、自分には価値がないと感じたことはありますか？

- きょうの話から、神様に仕え、神に遣わされて福音を語るための必要条件は何だと思えますか？
- 私たちの小隊、指導者、私たち自身が神様に仕えることを妨げる条件や、不必要であると思われる障壁はありますか？
- あなたは、どういう仕方で、神様に仕えるよう召されていると感じることができのでしょうか？
- あなたが神様に仕えることを妨げているものはありますか？

以下の質問を書き留めて、あなたの教会のリーダーに提出し、ディスカッションを持ちましょう。

- あなたがもっと神に仕えることができるようになるために、また、あなたの小隊生活が有意義なものとなるために、小隊の人たちにサポートしてほしいことはありますか？
- もし、あなたが大切に思っていることで、小隊の人たちに聞いてほしいと考えていることを手紙に書くとしたら、どんなことを書きますか？

まとめ

若者は神様にとって尊い存在です。神様は、神様を信頼して自分を献げた若者を通して語りかけ、目的を成し遂げるために用いられます。神様はあなたを用いたいと思っておられます。神様にお従いし、声を発し、機会を探しましょう。

祈り

彼らが大胆に声を上げ、神様が導いてくださる道で生きることができるよう祈りましょう。あなたの小隊が若者を受け入れ、若者たちの声が聞かれる場所となるように祈りましょう。それがすでに起こっていて若者の生活の中で神様が働いてくださっていることに感謝しましょう。